

小山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	創造演習Ⅱ A		
科目基礎情報							
科目番号	0022		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	建築学科		対象学年	2			
開設期	前期		週時間数	4			
教科書/教材	建築デザインの製図方法から簡単な設計まで						
担当教員	崔 熙元						
到達目標							
1、基本的な建築図面の種類と内容を説明できる 2、鉄筋コンクリート造と木構造の建築物の基本的な図面を描ける、模型が作ることができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	基本的な建築図面の種類と内容を明確に説明できる		基本的な建築図面の種類と内容を説明できる		基本的な建築図面の種類と内容を説明できない		
評価項目2	鉄筋コンクリート造と木構造の建築物の基本的な図面を正確に描ける、模型を正確につくることができる		鉄筋コンクリート造と木構造の建築物の基本的な図面を描ける、模型が作ることができる		鉄筋コンクリート造と木構造の建築物の基本的な図面を描けない、模型が作ることができない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築図面の種類と内容及び模型にて鉄筋コンクリート造と木造にて図面を描き、模型を作り学ぶ。						
授業の進め方・方法	前期は、図面や模型提出が1,2週に1作品提出とし、夏季休業中には木造軸組模型の課題を求める。						
注意点	様々な建築図面を見てそれを理解しようとすると共に、建築家のドローイング集やデザイン雑誌などから良いものを吸収して欲しい。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス、製図の基礎 (図面、線)	建築図面の種類を理解し、線の種類を使い分けて描く。			
		2週	開口部、縮尺別表現 トレース	開口部、縮尺別表現を理解する			
		3週	R C造建築物の図面のトレース 平面図	R C造建築物の平面図を理解する			
		4週	R C造建築物の図面のトレース 平面図	R C造建築物の平面図を理解する			
		5週	R C造建築物の図面のトレース 断面図	R C造建築物の断面図を理解する			
		6週	R C造建築物の図面のトレース 断面図	R C造建築物の断面図を理解する			
		7週	R C造建築物の図面のトレース 立面図	R C造建築物の立面図を理解する			
		8週	R C造建築物の図面のトレース 立面図	R C造建築物の立面図を理解する			
	2ndQ	9週	木造住宅の平面図のトレース 1/100	木造住宅の平面図1/100を理解する			
		10週	木造住宅の平面図のトレース 1/50	木造住宅の平面図1/50を理解する			
		11週	木造住宅の平面図のトレース 1/50	木造住宅の平面図1/50を理解する			
		12週	木造住宅の立面・断面図のトレース	木造住宅の立面・断面図を理解する			
		13週	木造住宅の立面・断面図のトレース	木造住宅の立面・断面図を理解する			
		14週	R C造建築物の模型製作 / 木造軸組模型製作	R C造建築物の図面を読み取り模型製作にて理解する / 木造軸組の図面を読み取り模型製作にて理解する			
		15週	R C造建築物の模型製作	R C造建築物の図面を読み取り模型製作にて理解する			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	モジュールについて説明できる。	2		
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	2		
			設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	3		
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	3		
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3		
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	3		
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	3		
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3		
各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3						
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0

專門的能力	0	0	0	0	0	100	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0